

新型インフルエンザ・ ニュースレター@青森県

31st JANUARY 2013 Vol 3 Issue02

こんにちは、青森県保健衛生課です。

多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。

今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。

Inside This Issue

- I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等
- II. インフルエンザの発生状況・研究報告など

I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等

◆1 WHO、カンボジア保健省は2013年1月25日に3人、1月29日に2人、それぞれ鳥インフルエンザ(H5N1)の新たな確定患者を報告。

1月25日発表分

○ 1人目の患者は、プノンペン市に住む生後8ヶ月の男児で、1月8日に発症、病院で治療を受け、回復。患者は発症前に家禽への曝露がありました。

○ 2人目の患者は、パケオ州に住む15歳の女性で、1月11日に発症、民間診療所で治療を受けた後、同月17日には搬送先の病院で集中治療を受けたものの、21日に死亡。その村では家禽の死亡が発生し、患者は発症前に病鳥を調理しています。

○ 3人目の患者は、コンポンスプー州に住む35歳の男性で、1月13日に発症、地域保健センターに受診、21日にプノンペン市の病院に入院した後に死亡。その村では家禽の死亡が発生し、患者は発症前に病鳥を調理しています。↑

↑1月29日発表分

○ 1人目の患者は、コンポンスプー州に住む17ヶ月の女児で、1月13日に発症、民間診療所で治療を受けた後に病院に搬送され、28日に死亡。

○ 2人目の患者は、カンポット州に住む9歳の女児で、1月19日に発症、27日に入院、28日に死亡。

カンボジアの状況

カンボジアでは、2013年に入り、この1週間で2012年の確定患者数を上回る数の患者が報告され、2005年以降では26人の確定患者、うち23人が死亡しています。

<http://www.wpro.who.int/mediacentre/releases/2013/20130125/en/index.html>

<http://www.wpro.who.int/mediacentre/releases/2013/20130129/en/index.html>

◆2 WHOは、2013年1月16日、ヒト・動物に共通するインフルエンザの要約と評価を発表。

鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染

・ 2003年から2013年1月16日までに、15カ国から610人の確認患者が報告され、このうち360人が死亡。

○ 鳥インフルエンザA/H5N1の公衆衛生上のリスク評価：変更なし

変異型インフルエンザA/H3N2感染

・ 米国での新たな確認患者の報告はありません。

○ 変異型インフルエンザA/H3N2の公衆衛生上のリスク評価：更なる患者及び小さなクラスター(感染集団)の発生が予想され、発生状況の監視が必要

○ メキシコでは、家禽での鳥インフルエンザA/H7N2の発生に伴い、2人の感染患者が発生。主な症状は結膜炎を呈するような軽度のもものとされています。

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html

◆3 米国疾病管理センター(CDC)による、2011年8月～2013年1月19日の変異型インフルエンザA/H3N2患者状況は次表のとおりです。↑

報告した州	年次患者数	2011年 報告患者数	2012年～ 報告患者数
ハワイ			1
イリノイ			4
インディアナ		2	138
アイオワ		3	1
メイン		2	
メリーランド			12
ミシガン			6
ミネソタ			5
オハイオ			107
ペンシルバニア		3	11
ユタ			1
ウエストバージニア		2	3
ウィスコンシン			20
合計		12	309

前週(1月12日)までの状況からは変更なし

<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-case-count.htm>

II. インフルエンザの発生状況・研究報告など

新種のコロナウイルスの族系、コウモリに幅広く分布

2012年に中東で9人が感染した新種のコロナウイルスに関係のあるコロナウイルスは、アフリカ及び欧州のコウモリで広く分布していることを報告。この知見は、新種のコロナウイルスがコウモリに由来するという証拠を補強するもので、コウモリの糞を肥料にしたり、コウモリを狩るというアフリカでの習慣が、コウモリからヒトへとコロナウイルスを感染させる役割の可能性を報告しています。

http://wwwnc.cdc.gov/eid/article/19/3/12-1503_article.htm

2009年のパンデミックによる感染率は、24%

19カ国での血清学的研究分析では、2009年のパンデミックによる新型インフルエンザA/H1N1感染者は、人口の約24%となるという報告。この数字は、米国の保健当局が評価した数字より高いものでした。

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/irv.12074/abstract;jsessionid=906D9C4F2C840B34421DFE5F17AFADBE.d02t01>